

# 秋 姫(あきひめ)

登録番号：第2590号

育成者：小嶋昭一郎

登録年月日：平成3年2月21日

来歴：偶発実生

登録者：株式会社天香園(山形県東根市島通り1丁目34号)

育成地：秋田県湯沢市相川字街道東

## 特 性

### ■栽培特性

樹勢は若木のうちはやや強いが、樹齢を経るに伴い段々落ち着いてくる。樹の大きさはやや大きい。枝の発生はやや粗であるが、花束状短果枝の着生は中程度である。若木のうちは直立するが、結実が始まると開張性を示す。主枝・亜主枝の誘引を行い、適正な樹形構成に心掛ける必要がある。新梢の発生は多くないので、骨格枝を確保するために主枝および側枝の切り返しを適宜行う必要がある。整枝剪定は「ソルダム」に準じて行う。

開花期は育成地の秋田県湯沢市で4月下旬から5月上旬である。花粉は多く、結実性は良好であり、収量は多い。自家結実性であるとされているが、授粉樹を混植することで、より結実が安定する。交雑和合性が比較的高い品種として「紅りょうぜん」、「太陽」等がある。なお、「秋姫」の花粉は、「大石早生」、「ソルダム」、「紅りょうぜん」との和合性が比較的高い。生理的落果は中程度である。

収穫期は育成地で9月中・下旬であり、極晩生種としての位置付けである。収穫適期は果皮が紅紫色となった頃であり、それ以前の収穫では酸味が強く品質的にやや劣る。

### ■果実特性

果実重は150g程度で大きく、玉揃いも良好である。果形は円に近い扁円で、果頂部が尖る。果実内の空洞は小で、梗あの深さ・広さはともに大きい。果皮の着色は良好で、完熟果は紅紫色となる。

しかし、着色先行型であるため、果皮が鮮紅色の頃では適熟期に至っておらず、果肉の成熟はそれから数日遅れる。果粉の多少は中位で、果面のさびは少し発生するが、外観は良好である。核と果肉の粘離は半粘である。

果肉は黄色で、比較的ち密であり、締まりは良好である。糖度は屈折計示度で14%程度で高く、酸味はpH3.8程度でやや多く、食味は良好である。日持ち性は「ソルダム」に比べやや優れる。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病害の発生は比較的少ないが、枝にがん腫様のこぶが発生することがある。これは生理的障害と思われるが、詳細は不明である。

本品種は着色先行型であるので、適熟果の収穫に努める。果肉の軟化は比較的遅く、未熟果は食味がやや劣るので早採りには注意し、梗あ部の地色が十分黄色になってから収穫する。

結実性が良好であるので着果過多となりやすい。着果量が多いとやや小果となる傾向があるので、適正な着果量とする。

### ■地域適応性

全国のスモモ栽培地域において栽培が可能であり、適応性が十分あると思われる。一般に他の果樹に比べ開花時期が早いので、凍霜害を受けやすい地域では生産が不安定になりやすい。

(掘 茂樹)